タイ・チュラロンコン大社会調査研究所

国際交流組織間協定

ソーシャル・ウェルビーイング研究拠点

▲ Kulsomboon所長（左から4人目）と原田研究代表（同3人目）＝昨年11月、チュラロンコン大で

専修大学社会知性開発研究センター／ソーシャル・ウェルビーイング研究拠点（＝センター、研究代表・原田博夫経済学部教授）は、タイのチュラロンコン大学社会調査研究所（バンコク市、Vithaya Kulsomboon所長）と国際交流組織間協定を3月23日付で結んだ。

アジアのソーシャル・ウェルビーイング（人々の安心感、幸福感）がどのような状況にあるか研究を進める同研究拠点の原田代表は「高い研究能力をもつ研究所と協定を結ぶことは重要な意義を持つ」と今後の研究に弾みをつけたいと語る。

チュラロンコン大学は1917年に創立された名門大学。社会調査研究所は同大学に設置されている研究所の一つで、途上国における社会調査や教育訓練を目的としている。

専修大学社会知性開発研究センターは同研究所と、二つの研究プロジェクト（▽アジアにおけるソーシャル・ウェルビーイング研究コンソーシアムの構築＝2014年度採択・文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業▽持続的発展に向けての社会関係資本の多様な構築＝09年度～13年度・同）での調査委託などすでに交流を持つ。

5カ国から研究者集い キャンプセミナー開催

富士山中湖セミナーハウス

社会知性開発研究センター／ソーシャル・ウェルビーイング研究センター（原田博夫研究代表）は2月17日から19日まで、韓国、ベトナム、タイ、フィリピン、インドネシア各国からの研究者を招き、富士山中湖セミナーハウスでキャンプセミナーを実施した。

ソーシャル・ウェルビーイング研究センターは文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の支援を受けて、アジア各国の研究機関と高度経済成長後の安定成長社会における個人の幸福（生活の質）と望ましい社会制度のあり方を探るための研究コンソーシアムを作ることを目的に、2014年度に設立。

15年度は韓国とベトナムの研究機関に委託して、両国でのアンケート調査を実施。その研究成果を共有するためのキャンプセミナーの開催を原田代表が各国に呼び掛けたところ、海外から8人、日本側から12人という国際色豊かな研究合宿となった。

海外の研究機関は▽ソウル国立大学▽ベトナム社会科学院▽アテネオ・デ・マニラ大学▽チュラロンコン大学▽インドネシア大学など。

セミナーでは、日本側のアンケート調査の結果概要▽各国で実施する共通質問項目の目的と意図▽韓国、ベトナム両国の調査の結果と解釈▽各国の研究者からのコメント▽研究コンソーシアムの将来像と今後の研究計画――などについて議論された。

16年度はタイとフィリピンで同様のアンケート調査が予定されており、こうした共同研究の蓄積が、これまでにない新たな知見を導き出す可能性が期待される。2泊3日と短い日程だったが充実した研究集会となった。

コーヒーブレークでは、真っ青な空を背景に山中湖に映える富士山を見る機会があるなど、各国の研究者は日本の美しい風景を存分に堪能した。来年度はタイでキャンプセミナーが予定されており、そこでの再会を約して海外からの参加者は短い滞在を終えて帰国の途に就いた。

（嶋根克己人間科学部教授）

▲ 熱心に討論する海外からの参加者（左からフィリピン、ベトナム、韓国、タイの研究者）

本学の国際交流組織間協定校は、4カ国9機関（国際交流協定校は17カ国・地域22大学）となった。

キャリアデザインセンターから

インターンシップの季節到来！

新学期、皆さんも新たな決意で勉学に励んでおられると思います。勉学を将来に生かすための在学中の疑似体験がインターンシップです。近年、さまざまな企業が重視するようになっています。本学のキャリアデザインセンターにはさまざまなインターンシップのメニューが用意されています。学期を通じて企業やNPO法人で行う「課題解決型インターンシップ」、多摩区役所や川崎商工会議所の加盟企業などで行う「就業体験型インターンシップ」（夏休み、春休み）などのこれまでのメニューに加えて、新たに全国どこでも希望地に合わせて農業法人や全国農業会議所と提携する農家で行う「農業インターンシップ」（夏休み、春休み）が加わりました。農業そのものに関心のある方だけでなく、将来、食品メーカー、食品商社、総合流通業への就職を目指す方には得難い機会です。将来の就活のプレゼンの内容としても十分活用できます。もちろん1年次生、2年次生も大歓迎です。まずは、早速キャリアデザインセンターにお問い合わせを！

キャリアデザインセンター・インターンシップオフィス長　小林　守

▶ ガイダンスで説明を聞く学生

就職課から

Uターン支援強化

就職課はこのほど、学生のUターン就職支援を強化する協定を、長野、静岡2県と結びました。すでに締結した群馬、茨城、栃木3県に続いての締結です。

この協定により、各県内で開催される就職関連のイベントの情報を皆さんに配信し、各県の企業を集めた合同企業説明会を本学キャンパスで優先的に実施できるようになりました。今後も地方自治体との連携を深め、学生のUIターン支援を強化していきます。

●4年次の皆さん

4月、サテライトキャンパスで合同企業説明会を次の通り実施します。

▽19日（火）長野県内企業▽20日（水）静岡県内企業▽21日（木）アグリビジネスに関わる企業▽22日（金）ロジスティクスビジネスに関わる企業▽27日（水）栃木県内企業▽28日（木）群馬県内企業――が集合。

実施日の追加、参加企業などの情報は逐次ポータルや就職支援システムS－netで公開します。

5氏に名誉教授称号記

専修大学名誉教授称号記授与式が4月5日、神田キャンパスで矢野建一学長、日高義博理事長らが列席のもと行われ、5氏に名誉教授称号記が授与された。

小沼堅司元法学部教授（在職40年）
木幡文徳元法学部教授（在職43年11カ月）
仲川恭司元文学部教授（在職34年）
樋口　淳元文学部教授（在職41年）
中村友保元ネットワーク情報学部教授（在職37年）

▶ 学長、理事長をはさんで記念撮影

公開講座情報

法学部140回連続講演会（2016年度）

創立140年に向けて開催している140回連続公開講演会。法学部、法科大学院の教員らが現代的な諸問題から理論的問題まで多様なテーマを扱う。入場無料、事前申し込み不要。16年度前期のスケジュールは次の通り。

▽期間＝5月3日～7月19日の火曜日か金曜日▽時間＝火曜日18時15分～19時45分／金曜日19時～20時30分▽場所＝神田キャンパス5号館571教室（変更の場合あり）

※講演内容はホームページ参照

問神田教務課☎03・3265・5843

第161回国際交流特別講演会「やさしい英語による経済学講座」

ディアドゥレ・オコーナー氏（経済学部海外客員教授、アイルランド国立大学ダブリン校）がアイルランドやEU情勢について英語で講義する。入場無料。

▽期間＝4月23日～5月21日の毎週土曜日全5回（5月7日は除く。1回の受講でも可）▽時間＝10時～11時30分。5月21日のみ連続2講演で、9時～10時30分、10時45分～12時15分▽会場＝国際交流会館山田長満インターナショナルホール

▽申し込み＝国際交流事務課E-mail：iaffairs@acc.senshu-u.ac.jp

経済学部経済学科公開講座「4年目を迎えたアベノミクスと日本経済」

アベノミクスと、日本経済が抱える問題について、財政金融、労働、社会保障、産業、マクロ経済など幅広い分野にわたって論じる。入場無料。

▽日時＝5月14日～6月18日の毎週土曜日全6回（1回の受講でも可）10時45分～12時15分▽場所＝生田キャンパス10号館10103教室▽講師＝中野英夫教授／鈴木奈穂美准教授／高橋祐吉教授／田中隆之教授／櫻井宏二郎教授／西岡幸一教授▽申し込み＝4月18日（月）～5月11日（水）、教務課（経済学部担当）「経済学科公開講座係」☎044・911・1257、E-mail：ekyomu@acc.senshu-u.ac.jp

3氏に学位授与

3月23日、専修大学から3氏に学位が授与された。（氏名に続き、現職、学位の種類、学位請求論文名）

辻村　雅子氏

慶應義塾大学産業研究所研究員、博士（経済学）「Structural Analyses of Flow of Funds」

車田　忠継氏

二松学舎大学附属高教諭、博士（歴史学）、「戦前期中選挙区制度における選挙構造と地域政治秩序―千葉県第1区東葛飾郡と川島正次郎を中心に―」

ダン　ティ　ビェット　フォン氏

ベトナム社会科学院社会学研究所研究員、博士（社会学）「Sociological Monograph on Voluntary Associations in North Vietnamese Rural Areas」

訃報

藏下勝行氏（くらしも・かつゆき）名誉教授・元ネットワーク情報学部教授

4月5日、81歳で死去。1967年から2005年まで在職。専門は経済理論。